磐城日日
發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼発行人　長瀬芳郎

鹿島村會並に元老連
八代村長に辭職勸告
應ずすばリコールと强硬

合併問題、村長の公金横領事件で注目をひいている鹿島村は村長八代義定氏に對して村会並に元老間に村長の辭職を要望する聲が擡頭し、去る十二日午後一時より議員十四名（二名欠席）はこの問題をめぐる協議會を開いた結果、大多數をもって八代村長に對して辭職勸告をすることに決定し全日直ちに八代村長を訪ねて申入れを行ったが、八代村長は平然？として何等の意思表示をなさず、そのため結論を得ずして物別れに終ったが、翌十三日鹿島村の元老鈴木一男、佐藤米治、佐藤善太郎、鵜沼忠美、四家重男、箱崎久夫、赤坂稔、佐原良近、草野隆美、鈴木金藏、鈴木秀夫、志賀直哉、波立正直、高萩民男、草野善太郎氏等十五名は午後二時より鹿島村農業協同組合会議室に參集して協議會を開き愼重協議した結果斷固八代氏に對して辭職の勸告をなすことに一決し明十六日元老十五名は揃って八代村長に面接の上勸告することになった

なお元老の諸氏はこの際八代村長が如何なる方策に出るもあくまで退陣を勸告し、もし應ぜざる場合はリコールも辭さない强硬な態度であり今後の成行きが注目されている

これについて某元老は次のように語っている

八代村長に對して進退を勸告することに決定し十六日に申入れを行うが村長の態度からしてそう簡單には解決出來相にも思えないので最惡の場合にはリコールを行い村民に訴えるつもりだ

緑の羽根割當
小名濱町は四千本

石城郡の緑の羽根目標は二萬三千本であり石城地方事務所林務課ではとの程各町村割当を次の通り決定した

小名浜…四千、泉七百、江名…五百、豊間…五百
鹿島…三百、渡邊…三百、植田…二百、錦…三百、勿来…二千五百、山田…千、川部…五百、上遠野…六百、入遠野…三百、田人…五百、湯本…七百、磐崎…千、内郷…七百、好間…七百、赤井…八百、草野…五百、大浦…千、四倉…二百、大野…千、上下小川…八百、川前…三百、高久…三百、夏井…八百

（家庭）（文化）
「乳兒を預かる―お母さんに方」

生歯時の注意

…神經痛の赤ちゃんは不機嫌になる…

歯が生え始める頃、赤ちゃんは不機嫌で熱を出しやすく、安眠しないで難づかることが多る、これを世間では「ちえ熱」とか生歯困難とか言っている、これは神經質の赤ちゃんに起り易く、まづ健全な赤ちゃんには余りないようです

…病氣に罹りやすい…

然しこの頃は母親から受けた免疫体がなくなるので、いろ〳〵な病氣に罹りやすい時期です、風邪を引かせめよう、下痢をさせぬように氣をつけ、特に母親は充分な榮養をとることが大切です

…異常があれば直ちに診察を…

生歯時にあつて病氣に罹つたときにその病源を歯のためと思い、油斷すると取返しのつかぬことになるから、發熱がつゞいたりするようなときは一應醫師の診斷を受けることが大事です

夜泣きをする赤ちゃん

…夜泣きの原因…

夜泣きをして困らせる赤ちゃんがあつたら、お母さんはその原因について考えてみなければなりません

①神經質な赤ちゃん②あまり手をかけすぎて晝間抱いてばかりいるため③晝寝が多すぎる④病氣がある④乳が足りなくてお腹がすいている⑥頭の後に「おでき」があつて痛いとか⑦蚤や蚊がいるという一時的な原因もある

…夜泣きの手當…

一時的の夜泣きなら問題ではないが、癖になつた夜泣きはそれ〴〵手當をしなければなりません

他に病氣がなければ晝寝が過ぎないよう注意し、寝る前にゆつくり入浴をさせ、その後乳をタップリ飲ませ、おむつをきれいに取替えて寝かせると赤ちゃんはさも滿足そうにぐつすり眠るようになります、それでも寝つきの惡い赤ちゃんには睡眠藥「カルモチン」〇・三グラム位を飲ませてみて下さい

見習工募集!!
学歴中卒18才以上
身元確実で永續出来る意志强固な者
◉委細面談
小名浜町渚廻五一
長瀬印刷株式会社

磐城BB協
會の總會

磐城バスケットボール協會（会長瀧口豊氏）では去る十三日午前九時三十分より磐城女子高等學校体育館に於いて總会を開き二十七年度行事計画、縣總合大會の役員選出、役員改選等について協議をした

湯本飲食店
組合の總會

湯本飲食店組合總会は十一日湯本公民館で開き、役員改選を行った結果滿場一致で次の諸氏が選出された

組合長＝松本庫造（北京）
会計＝佐藤鶴次（エビス）
執行委員＝節田三郎、清水甚松（清水屋）菊地菊治（いせや）佐藤鶴吉（エビス）佐藤三郎（かめや）藁谷実（新龜）
会計監査＝土田新造（鈴木屋）

總代當選予想者
小名濱と磐崎の顔振れ

鮫川堰土地改良區の總代選挙は本十五日小名浜上遠野、磐崎、渡邊、泉、植田の五區で行われるが磐崎村の定員は十三名、有權者二百五十三名であるが當選豫想者は次の通り

大平正次、酒井芳雄、大平忠一郎、佐川弘道、磯上好次、管野榮作、佐川忠文、高槻繁男、御代武光、佐藤内記、國井邦義

また小名浜町では第二小学校（第一投票所）第三小学校（第二投票所）を設けて投票を行うことになつており定員三十七名に對して總代出馬の顔振れは次の通りである

小名浜…小野義一、草野新兵ヱ、小林仁一郎、小浜長太郎、飯塚定吉、飯塚藤右ヱ門、高木孚太、小野辰吉、齋藤義定、松本慧、小野銀吉、吉田利治、坂本重三郎、永井正郎、馬目幸之助、小野忠三
住吉…佐藤義保、竹原太津彌、野崎啓之助、高萩高記、高萩魁次、高萩庵
大原…箱崎平三郎、石井平太郎、箱崎蔦治、駒木根忠三
野田…白土權、小松佐平
仲野積善
南富岡…鈴木孝次、木一男、鈴木雝
岡小名…村上重一、小松元司
島…鈴木正道

平の剣道大會
團体は鐵山組優勝

平連合青年会主催の剣道大会は十二日午後一時より櫻まつりに賑う平市松ヶ岡公園のテニスコートに於いて開催され、團体個人、模範の三部に分れ鈴木、新妻の兩範七らが審判を行ない、團体には鉄山、神谷、東部の三チーム出場熱戦を展開した爲大將同士の決戦となり鐵山チームの菊地氏が勝つて優勝した、また個人戦は二十五名の選手が出場したが東部の佐藤氏が優勝した、續いて石城劍友クラブ員による模範試合があり午後四時終了した

江名婦人會
で講演會

江名町婦人会では第四回婦人の週間にちなんで去る十三日午後零時半より全町隣保館、十四日午後零時半よりは江名町永崎の第二小学校に於いて講演会を開いた

講師は作山美八氏で「新時代の家庭生活」と題しての講演があった

職安勞基署
の移廳式

平職業安定所並に勞働基準監督署の移廳式は明十六日午前十時より平市公会堂に於て縣知事を始め關係各官廳、地方團体など多數出席して行われる

田人に苗甫

石城地方事務所林務課では緑の羽根週間の一環として田人村横根地内に一町歩の苗圃（出荷能力毎春八十萬本）を造り郡内造材に拍車をかけることになった

荒井部長石
川署へ轉勤

小名浜地區署勤ムの荒井保巡査部長（在勤滿四年）は今回の異動で石川地區署警ら交通係に轉勤することになった

また小名浜地區署鑑識係の佐藤一巡査は巡査部長豫備試験に合格した

石城保育協
議會の発會

保育事業の振興を圖るため石城保育協議会を結成する準備会は数回に亘つて行われてきたがいよいよ来る二十日午前九時より小名浜第二保育所に郡内の公立保育所内郷、小名浜、泉、江名、植田など十一ヶ所の代表が參集して發會式を行うことになった

江名町で火
の見新設

江名町では工費百九十萬圓をもって全町南町地内に鉄筋石造にて二十六坪の車庫を階上に會議室を併置する火の見望樓を新設することになり近く着工するが完成は五月中旬の見込み

天氣予報　15

（本日）北乃至北東の風引續き曇勝ちの愚闘ついた天氣でしょう（海上）時化氣味ですが明日は穏やかになりましよう

魚菜市況　14

【小名濱中央青果市場】馬鈴薯三〇〜六五△ほうれん草二六〜三〇△大根二〇〜五五△人參一〇〜二〇△牛蒡四五△さつま四〇〜六〇△葉玉ねぎ三〜八△切いも八五〜一五〇△多菜二〜六△ねぎ六〜一〇△卵六、五〇〜七八〇

（小名濱魚市場）いなだ三三〇△すずき五〇〇△ぶり四一〇△ぬけ二二〇△きまつ三八〇△たら一〇〇ぎす一四〇△たこ二八〇

経費をかけずに良い品安く
白生地大暴落
3月31日が最底値でした毎日少しづゞ高くなつてます　當店には底値品がまだまだ在庫してあります
遠足に運動靴　リツクサツク
学生服　小學生より高校生服迄　セーラー服　一年生より高校生まで　特別安値　最新入荷
学生帽ＫＯ型　130円より350円まで
手提鞄（男女学生用）370円より1200円迄
ボストン鞄2000まで
小名浜第二小學校前
皆様の店　平マーケット
電話297番

第四回平競輪開催
4月13日 14月 15火 18金 19土 20日
主催平市　櫻まつり豪華レース　11時發走

新種保險發賣ニ付
特別外務員急募
學校、官公署等退職者は特に優遇す（三十才以上男女不問）
第一生命保險相互會社
支部長　津田博
平市南町七一（電話三二〇）

春の榮養食は
ウマイ!!ウマイ!!
錦製パン
錦町大倉
電話植田二一六番

第二回清酒品評會　優等賞受領
銘酒　稲萬歳
植田町古川　酒造店
電話（植田）一六番

第506号　（火曜日）　昭和27年（1952）4月15日　磐城日日　昭和26年7月19日 運輸省特別承認扱第684號　昭和25年10月6日 第三種郵便物認可　日刊（除月曜）【1】

教組石城支部の委員會
各委員の顔振れ決る
書記局次長は河東田氏

縣教組石城支部の第一回委員会は十二日午前九時半より平第一小学校に郡内小中高各校の代表一名づつ九十余名参集の上開かれ次の議案について協議した

①支部執行委員選出に關する件
②縣中央委員並びに代議員選出に關する件
③昭和二十七年度支部選學委員選出に關する件
④支部、日程に關する件
⑤その他

各委員選挙の結果は次の通り

書記局

書記局次長…河東田昭（小名二中）組織部長…堀潤二（内郷二中）調査部長…荒末夫（大野中）情宣部長…大平武男（磐崎中）文化部長…根本篤（赤井一中）体育部長…大樂治男（小川中）厚生部長…樋口和夫（高坂小）經理部長…堀越改造（小名一中）全次長…保留、庶ム部長…野口實（小名一中）青年部長…黒田芳男（磐農高）婦人部長…北原智江子（四ッ倉中）

專門局

小學校部長…小林正人（豊間小）中學校部長…御代貞興（湯本中）高等學校部長…高木一良（小名高）事ム職員部長…大平芳孝（草野中）養護教員部長…矢吹トメ（草野小）

會計監査委員

浦山貞一（宮小）鈴木軍司（四ッ倉中）小原道雄（小名高）縣代議員は十八名を選擧しその中から次の縣中央委員を選出した

大平幸男（副支部長）清野弘（書記長）小野忠夫（内郷二中）竹田貞生（磐農高）

選出された支部委員については所屬学校長の承認を得て正式に決定することになつている

なお支部の常任執行委員は第一回を十九日、第二回は二十三日に開き来る二十九、三十日の兩日郡山市に於いて開催される第十二回縣教組の定期大会に望むことになつた

平驛の忘れ物
一年間に二一五一件

平驛での二十六年四月から二十七年三月までの一年間の忘れ物は計二千百五十一件にのぼり二十五年度にくらべて五百十五件も増加している、その中持主に無事返却されたのが五百五十六件であとの千五百九十五件は市警察署に保管されて持主の現れるのを待つている、主な內譯は次の通りである

▽現金十八件（八万五百二十八円三十六錢）▽ふろ敷包五百六十三件▽かさ類二百四十七件▽メガネ二十六件▽帽子二百四十二件▽時計六件▽寫眞機二件

畜犬登録の更新（小名浜）

小名浜町厚生課では、畜犬登録更新について至急登録するよう次のように畜犬飼育者に注意を促している

昨年度犬の登録は石城郡五、六一六頭、平市八三二頭石城郡でトップは小名浜町の四九七頭となつており、本年度の町登録は四九七頭の三倍と厚生課ではみている

仔犬（生後九十一日以上）は勿論、昨年五月より本年三月までに登録した畜犬も四月より更新することになつているから速かに登録するよう要望している

なお登録料は一頭三百圓で申請用紙は役場厚生課に備付けてある

この手續きを怠つたり未登録飼犬すると五万圓以下三万圓の罰金に處せられる

預金と無盡
株式會社 大東相互銀行

湯本で舗装着工
委員會で五線を決定

湯本町内の舗装工事は先きに駅前近道通り、滿州バー通り、湯本座通りを完成したが、全町會土木委員會ではこれが第二次工事の打合せを去る九日午後一時より町役場会議室で開き二十七年度追加予算として三百七十万円（內定）で次の五本の道路舗装を実施することに決定した

常磐炭礦八仙～自治會館一〇〇米、八仙踏切～湯本病院三〇〇米、役場前～吹谷三〇〇米、傾城踏切～湯本二小三〇〇米、湯本一小～榮田二〇〇米

なお十二日櫻木町三一五米（九十七万五千円）寶海五十五米（九十五万四千圓）黄金町八五米（十六萬一千五百円）が着工されている

赤痢保菌者
また五名

平市鎌田町市營アパート東寮內に集団赤痢が發生し平保健所では十一日居住者の檢便を行つたところ十二日正午までに新らたに五名の赤痢保菌者がありこれで眞性二名、保菌者十名となつたが更に擴大するものとみられ保健所並に平市役所では防疫につとめている

人氣呼んだ
オリエ津坂

かつての「ヅカ」のスターオリエ津坂がピアス化粧品の宣傳に十二日來平したが全日午後五時より平市公會堂に於いてオリエ・ショウを催し腹話術紙切り、のど自慢コンクール、私は誰でしよう等に出演してかつさいを博した

湯本で櫻祭りの宣傳

湯本町ではさくら祭り宣傳のために十二日午前九時より全町の藝妓置屋から一名宛總勢十五名動員して櫻に飾りたてた花自動車にて上遠野村より植田、小名浜、江名、四倉平、内郷を廻り二万枚のビラをばらまきながら練り歩いた

セメントの橫流し
弓納持署長を再逮捕

前植田營林署長、現宮城縣中新田營林署長弓納持雄充（四二）氏は收賄容疑で植田地區署より送檢され身柄釋放となつたが十三日業ム上横領の疑いにより再度植田地區署に逮捕された

弓納持氏は二十四年七月ごろより二十五年十二月にかけて入遠野村の河川林道工事及び中学校建設等にからみ数回にわたつてセメント約二百俵を橫領した疑いによるもの

なお植田地區署ではさきに逮捕した入遠野担当の營林署員橋本正一（三一）を收賄、同村四條内の薪炭商平子清次郎（五九）を贈賄容疑として十三日地檢平支部に送つた

橋本は西山昌延より二十五年十月と十二月の二回に六千円、二十六年七月腕時計一ヶ二千圓相當を收賄した、また平子は二十五年九月同村入遠野の薪炭業平子作太郎と共に收穫係長の菊地義夫に一万円を贈賄したもの

詐欺で送検
平地區署

平地區署では山形縣西置賜郡鮎貝生れ元第一生命保險平出張所員加藤忠治（二七）を詐取窃盜の疑いで十一日逮捕したが、加藤は二十五年四月ごろ勤務先及び友人の好間村理髪業某氏より借りた一萬圓の返濟に困り、勸誘先の双葉郡木戸小塙無職永山勇（三五）さんほか二名から合計八千圓を借り受けその儘踏倒し、また昨年十二月上旬內郷町宮会社員小沼義（三〇）さん方よりオーバー、背廣など四点一萬四千圓相當を盜んだ疑によるもの

ビンゴに凝り窃盗働く

平市上平窪日雇遠藤重光（三七）はビンゴにとり遊興費に困り昨二十六年七月四日石城郡永戸村合戸農野口金三（五五）さんから頼まれて全村仁井宿農合津義雄（五三）さんから預かつた杉苗代金一萬二千圓を着服したほか、全年十一月草野村赤沼農篠崎竹雄さん方から犬の謝禮金と偽り一千円を詐取し、更に草野村下神谷農鶴崎定信（四四）さん方に侵入して現金二千円、衣類三点一千圓相当を盗んだ等十三件約五万円相當の窃盗、詐欺横領を働いていた疑いで平地區署より十二日地檢平支部へ身柄送検された

飛び降りて
老人即死

十三日午前八時頃常磐線上り急行二〇四列車が湯本町落合地内を進行中六十才ぐらいの男が列車から飛び降りたところすれ違つた下り九六一貨物列車に兩足を切斷され即死した、所持品を調べた結果身許は田村郡七鄉村堀越農佐藤子之吉（六五）さんと判明、所持した大越～綴間の切符の点よりみて平駅で乘換の際普通列車と急行を間違え綴駅を通過したあわてて飛び降りたものとみられている

象は賢い動物
バナナのおばさん…
慕うトンキー君…

象は人間がこの世に生れる前から存在したといわれている、象の故郷は印度とアフリカであり、アフリカ象の方が野性的で身体も大きく牙も長い、アフリカ象の中には肩の高さが一丈二尺もあり目方も千貫もある大きいものもあるが印度象は大体九尺程度で多い、バンコック博物館には長さ九フィートもある象牙があり印度にもその昔は相当に大きな象が棲息していたものと思われる

印度象は強い日光をさけて薄暗い密林の中に年長の強い牡象がリーダーとなつて三十頭乃至五十頭が群棲している

アフリカ象は休むときも寝るときも立つたまゝで印度象のように横になることはない、こうした野性の象を生けどるには慣れた象を使い、太い柱で圍んだ「ケッダネ」という大オリに入れるものである

象は世界に幾十萬頭いるか判らないが、未だ曾て象の死骸を見た人がないといわれている、象だつて不老不死である筈はなく、何時かは何處かで死ぬのではないかと思われるがその死骸を誰一人として見たものもないとのことで世界七不思議の一つにあげられている

三十数年間上野動物園でさまざまな動物たちの面倒をみてきた飼育課長は、チンパンジー、黒猩々につゞいて象が利口だと語つている

上野に「トンキー」という慣れた象がいた「トンキー」は象使いの印度人ジヤマーさんに連れられて表門を出て動物園のコンクリートの塀に沿いながら池の端から裏門まで散歩するのが毎朝の日課だつた、裏門前に八百文という小さな八百屋さんがあつた

花ぐもりのある春の朝、四十位の婦人が可愛いゝ「トンキー」に一ふさのバナナを與えた（豊富にバナナのあつた頃の話）「トンキー」は前ひざを折り、鼻を空に上げてバナナをくれた婦人に感謝をした、一週間ほど婦人との間に同じことが繰り返された「トンキー」はオリを出ると表門を出る慣習を止めて一散に裏門に飛出し前ひざを折り、目を細くしてバナナの婦人を待ちわびた、どうしたことか婦人の姿が見えなくなつたが「トンキー」は相變らず同じ姿で婦人の映像を描きながら右往左往して毎朝婦人を探し求めていたとのこと—

各種印刷／御註文は
小名浜町
長瀬印刷所
電219・387

土地付賣家
場所 日本水素正門前
格安御相談に應ず
御希望のかたは本社迄御越し下さい

味の大衆食堂
うどん、やぶそば
花見折詰仕出し
出前迅速
天満屋
小名浜町中島（清水屋隣）
電話四一七番

産婦人科
レントゲン
久保田醫院
院長 久保田眞
副院長 久保田眞一
助産婦 久保田イネ
小名浜町横町（電一二二）

蒲焼・うな丼・天丼
特製 かつどん・親子どん
丼類色々出前迅速
壽司 割烹 一平
電四五一
花見折詰仕出し大勉强

産兒調節！
厚生省認可
避姙と産兒調節はもう安心！
マジマ・タンポン專用避姙藥
タンポン併用 マジマ・ゼリー
携帶用ゴム容器付 マジマ・タンポン
サイトウ薬局
小名浜町松之中
電話374番